

### 特別支援学級・中高一貫校

野村昌平



**質問** ↓ 小中学校の障害種別児童数は増加傾向と聞くが、近年の状況とその対策は。

**答弁** ↓ 特別支援学級の在籍者数は小学校

では平成20年の148名が平成25年に237名、中学校は58名が67名に増加し、特に小学校自閉情緒学級は81名が148名と激増している。対応が喫緊の課題となっており、北小学校に新設した通級指導教室内に「特別支援教育推進センター」を拠点として設置し、子供達や学校・保護者への支援とともにニーズに応じた指導の充実に努める。

**質問** ↓ 中高一貫教育の進捗状況は。

**答弁** ↓ 津山高校内に平成27年2学級80名程度で開設予定、現在高校内に検討組織を置き研究と聞く。津山高校の募集定員は併設中学生徒数だけ減る。

### 市町村合併の功罪

津山新星会議 竹内邦彦



**質問** ↓ 市町村合併は旧5市町村にとって良かったのか。市長、副市長の率直な感想は。合併特例債事業の今後の見通しは。住民サービスのごみ収集事業の

統一に向けての対応は。

**答弁** ↓ 合併によって職員の専門性の向上や執務能力の高度化が図られ、広域的な視点による自治体としての基盤整備の推進など一定の効果が生まれていると考えている。今後も合併時に目指したまちづくり実施に取り組む。津山駅周辺の整備や(仮称)勝北マルシェ、一宮保育所移転新築など特例債の活用を想定し、事業化を予定している。ごみ処理の取り扱いについては、津山市の制度を基本として、新クリーンセンターの供用開始に合わせてごみの分別区分指定ごみ袋、処理手数料の統一を行う。

### 津山市の公共施設の今後

★津山誠心会議 安東伸昭



**質問** ↓ 来年4月からの消費税増税(5%が8%)に伴う対応について。

**答弁** ↓ 国の動向を注視し、国の方針が決定次第、必要な対応を適切に行う。現在、各担当部署で増税に伴う必要な条

例改定について検討中。

**質問** ↓ 行政財産の目的外使用について。

**答弁** ↓ 庁舎等の空きスペースの賃貸、自動販売機等の設置で、使用許可は197件、内使用料全額徴収は122件である。

**質問** ↓ 指定管理者制度導入によるメリットと課題について。

**答弁** ↓ 全体(31物件)での経費削減額は1億3000万円。直営と比べて利用増進が図られている。今後の課題としては、一層厳しくなる財政状況下で、現状での維持・管理が困難になることが想定される。(施設の存続含めた検討が必要)

### 地域振興等の予算なぜ削減か

★新風会 松本義隆



**質問** ↓ 道の駅、日本原高校の跡地、久米の北部支場跡地、勝北の水中花火の補助金の大幅削減、運動会の補助金などどうなったのか。

**答弁** ↓ (仮称)勝北マルシェと名称変更し

てやっている。また、日本原高校跡地の譲渡は受けない。北部支場は時間がいる。花火、運動会の補助などは主催者に自主財源の確保、コストの削減をお願いしている。運動会の補助金は困難。**質問** ↓ 安全・安心のため、防犯灯を市全域でやりかえる気はないか。その電気代も市が払ったらどうか。

**答弁** ↓ 厳しい財政状況で無理である。

**質問** ↓ 広戸池の入札はなぜ不調になったのか。

**答弁** ↓ 厳しい条件設定等が考えられる。

**質問** ↓ 再入札のスケジュールは。

**答弁** ↓ 入札条件を見直してできるだけ早い時期に実施したい。